

2014 年度 彙報

◆研究事業

- ・平成 26 年度における参加研究事業は以下のものである。
 - (1) 比較社会学研究センター「キャリア制度としての試験とタイ女性」(尾中文哉)
 - (2) 多様化する家族と問われる血縁関係 (和泉広恵)
 - (3) 「マタニティ・ハラスメント」に関する調査研究－労働領域における「多様な身体性」(杉浦浩美)
 - (4) 「乳がん・子宮がん患者を対象にした「書く」ことでのケア：臨床応用をめぐる縦断的研究 (門林道子)
 - (5) 占領下における女性の沖縄復帰運動に関する歴史社会学的研究 (高橋順子)

・独自研究事業 (学外資金獲得) の進展

上記 5 事業の他、研究所を基盤として平成 23 年～ 27 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の「女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究」を以下のように進めた。

- (1) テーマ 1 「女性とキャリアに関わる戦後社会調査の再分析と女性調査アーカイブの公開運用」として、書誌データの追加及び更新を行った。
- (2) テーマ 2 「大学における女性の再就職支援プログラムの開発研究」の一環として、企業の人事担当者にインターネットによるアンケート調査を実施し、また埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県でヒアリング調査を、さらには経営者団体へのヒアリング調査を実施した。

・受託研究

千葉県の男女共同参画事業調査のアンケート調査とヒアリング調査の分析をし、報告書にまとめた。

◆教育支援

- ・「教養特別講義 2」の講師選定および課題図書選定をおこなった。
- ・「現代女性とキャリア連携専攻」(目白キャンパス) と情報交換をおこなった。

◆講演会等の開催

- ・研究事業の一環として、以下のシンポジウム、プログラム、ワークショップなどを開催した。さらに学外の研究者や研究機関との交流を行った。

- (1) 講演会「女性と仕事：西友/ウォルマートを事例として」(本学リカレント教育課程と共催)

2014年6月13日 9時～10時30分 新泉山館大会議室

講演者：平林 浩美氏(合同会社西友 執行役員シニアバイスプレジデント)

- (2) シンポジウム「女性の活躍推進と司法の課題～中国電力男女賃金差別事件・控訴審判決から見えてくるもの～」

2014年6月20日 18時～20時 新泉山館 第3、第4会議室

講演者：宮地 光子先生

- (3) 体験型プログラム 女性の再就職のための体験型プログラム「セルフリーダーシップ・プログラム」(合同会社西友、本学リカレント教育課程と協同企画)

2014年9月2日～6日

- (4) シンポジウム「男性がケアを抱えるとき～女性労働をささえるもうひとつの観点～」

2014年12月13日 13時～17時 新泉山館大会議室

基調講演 天田 城介(立命館大学大学院教授)

パネリスト 土堤内 昭雄(ニッセイ基礎研究所主任研究員)

平山 亮(東京都健康長寿医療センター日本学術振興会特別研究員)

永井 暁子(本学社会福祉学科准教授)

- (5) 社会調査に役立つ統計分析：SPSS ワークショップ

2015年2月9日～13日 13時～15時 百年館低層棟コンピューター演習室1

講師：金 明中先生(ニッセイ基礎研究所)

- (6) 関西学院大学ハッピーキャリア・プログラム訪問 プログラムについてのヒアリング及び授業見学

2015年2月20日 11時～15時30分

- (7) 新しい働き方を考える ワークショップ型講座(リカレント教育課程共催)

2015年3月10日 13時～16時30分

11日 13時～16時10分

場所：百年館マルチメディア室1、人間交流室

講師：市川 望美(非営利型株式会社 Polaris 代表取締役/CEO)

堤 香苗(株式会社キャリア・マム代表取締役)

大沢 真知子(当研究所所長)

◆研究所発行物

- ・日本女子大学現代女性キャリア研究所紀要『現代女性とキャリア』第6号
- ・日本女子大学現代女性キャリア研究所ニューズレター vol.6
- ・女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究「セルフリーダーシップ・プログラム」実施報告書

◆研究活動・調査

- ・女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究「セルフリーダーシップ・プログラム」のインタビューを実施。
- ・英語版ホームページならびに英文パンフレットを作成し、学内外への研究者や研究機関に対して発信。